

平成24年度

論語の学校

~RONGO ACADEMIA~

11月17日(土)

13:00~17:00 (開場予定12:30)

二松學舎大学 九段1号館B2F 中洲記念講堂

入場無料

(全席自由 先着順)

山田方谷と
王安石の財政改革

樋口 公啓氏

東京海上日動火災保険株式会社 相談役

『論語』を
どのように読むか

家井 眞

本学文学部教授

《関連企画》●論語入門:本学文学部教授 牧角悦子

●素読実践:本学名誉教授 石川忠久

【お問い合わせ】E-mail:rongogak@nishogakusha-u.ac.jp

TEL:03-3261-1298 FAX:03-3261-1291 (平日9:30~16:30)

【お申込み方法】本学ホームページをご覧のうえ、E-mail、FAXでお申込み下さい。

<http://www.nishogakusha-u.ac.jp/>

135
Anniversary



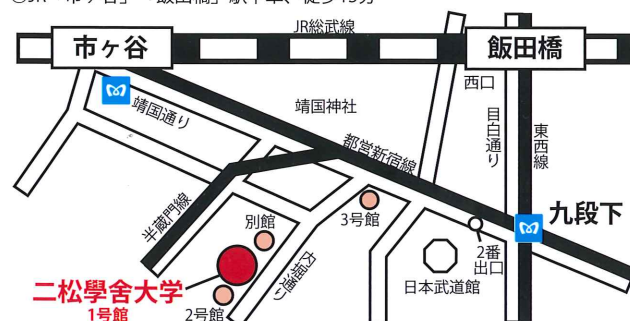
二松學舎大学

主催:学校法人 二松學舎 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

後援:文部科学省・東京都教育委員会・千葉県教育委員会・埼玉県教育委員会
千代田区・公益財団法人 斯文会・漢字文化振興協会・全国漢文教育学会
産業経済新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞社
二松學舎大学後援会・二松學舎松苓会

協賛:二松學舎サービス株式会社

○地下鉄 東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
○JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分



※会場には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

東京海上日動火災保険株式会社 相談役

樋口 公啓 (ひぐち・こうけい)

**山田方谷と
王安石の財政改革**

講演内容

山田方谷は江戸末期の備中松山藩にあって、百姓の出自ながら、藩校学頭として、また後に藩財政再建の立役者として、顕著な成功を遂げた。また王安石は中国宋代の名臣として、当代の宋国(北宋)の財政健全化に尽して功があったとされるが、必ず

しも後代の評価は一定していない。方谷の安石観も同様であるが、財政改革の技法的には、方谷はよく似ている。王安石は方谷に先立つ700余年の人であり、時代背景も異なることから一概に比較はできないが、両改革者の功績について、後代の評価が分かれることになった事情がどこにあるのか論じてみたい。

プロフィール

1936年(昭和11年)生まれ、鳥取県出身。1960年、東京海上火災保険株式会社(現東京海上日動火災保険株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長に就任、2001年取締役会長を経て現在は相談役を務める。幕末期の備中松山藩執政山田方谷について、2011年『山田方谷の思想と藩政改革』(明德出版社)を執筆した。

本学文学部教授 **家井 眞** (いのい・まこと)

『論語』をどのように読むか

講演内容

『論語』を理解するのは極めて難しい。難しい理由は、一は、言葉が難しくよく意味がわからない。二は、文章が短くそれがどのような状況で語られたのかわからない。三は、各篇・各章の関連、編集意図がわからない(例えば、堯曰篇は『尚書』の一部)。四は、現行テキストは後漢の鄭玄が古文・今文『論語』をつき混ぜて作ったもの。しかし、その注は減んで今に伝わらず、文章の古い形がわからない(ま「今、古文に従ふ」「今、今文に従

ふ」という鄭玄注が残っている)。五は、成書時期がわからない、等による。本来『論語』は、少なくとも以上を念頭に置き、解釈しなければならぬ。そこでこれらに注意しつつ『論語』の何章かの解釈を試みる。

プロフィール

1947年(昭和22年)生まれ。1969年、二松学舎大学文学部中国文学科を卒業し、1974年には二松学舎大学大学院文学研究科中国学専攻博士課程を単位取得満期退学。2002年には博士(文学)の学位を取得した。1974年、文学部助手として着任以降、専任講師、助教授を経て現在は二松学舎大学文学部教授。『詩経』を主な研究テーマとしている。

申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

①**FAX**=下記「申し込みFAX送信票」に必要事項を記入の上、ご送信ください。

②**電子メール**=メール本文に氏名(ふりがな)・住所(自宅または勤務先)・性別・電話番号・所属先名をご記入の上、下記メールアドレスにご送信ください。

申込先メールアドレス: rongogak@nishogakusha-u.ac.jp

ご注意: お申し込み受付後、特に「受講票」等は送付致しません。直接ご来場ください。

FAX送信先

二松学舎大学(『論語』の学校)行

FAX 03(3261)1291

FAX送信の際には、番号をお間違えないようお願いいたします。

『論語』の学校 —RONGO ACADEMIA— (平成24年11月17日開催)

申し込みFAX送信票

	申し込み日 平成24年 月 日 ()		
ふりがな		性別	企業名・団体名 ※個人でお申し込みの方はご記入の必要はありません。
氏名		男・女	
住所	自宅 勤務先 ※いずれかに○印をお付け下さい。	〒 —	
電話番号	()	メールアドレス	@

※記載いただいた個人情報に関しましては、「個人情報保護法」に則り、適正に管理します。

お申し込みありがとうございました。